

旭町小学校が Chromebook と Google Workspace 活用を高度化、川崎市の GIGA スクールの取り組みを牽引

川崎市立旭町小学校は市南東部の臨海地帯に位置し、近年、児童数が大きく増えている学校です。同校は 2019 年度以降、「川崎市教育情報化推進モデル校」「かわさき GIGA スクール構想推進協力校」、そして 2023 年度からは「リーディング DX スクール協力校」として、GIGA スクール構想の実現に向け ICT 教育の実践を市内に発信し続けています。2020 年に市内各校に先駆けて Google for Education の活用をスタートし、多くの成果を生み出している同校の取り組みを紹介します。



川崎市立旭町小学校

神奈川県川崎市川崎区旭町 2-2-1
<https://kawasaki-edu.jp/2/717asahityo>

1925 年創立。略称である「あさひこ」になぞらえ、あ＝「明るく元気な子」、さ＝「最後までがんばる子」、ひ＝「人のためにつくす子」、こ＝「心やさしい子」という学校教育目標を掲げる。ここ数年で児童数が大きく増えており、現在は 642 人が在籍。教職員数は 55 人。川崎市教育情報化推進モデル校、かわさき GIGA スクール構想推進協力校、リーディング DX スクール協力校として、教育における ICT 活用で市内をリードする立場だ。

 697 台
Chromebook

01

教員間の日々のコミュニケーションから、活用の高度化を図る

旭町小学校は 2023 年度から「話し合おう 発信しよう よくしよう～みんなといっしょに話し合って課題解決できる子～」をテーマとする校内研究に取り組んでいます。GIGA スクール構想推進のパイロット校として、市内他校に先駆け 2020 年 12 月に Chromebook が配布され、Google Workspace for Education (以下、Google Workspace) と組み合わせた活用を先行スタートしました。

川崎市が Google for Education を選定した理由を、市教育委員会 総合教育センター 指導主事の新田 瑞江氏が説明します。

「Chromebook は機能がシンプルで管理面に優れ、起動も速いため、児童の学習端末として適していると考えました。また Chromebook と Google Workspace を組み合わせることで、セキュリティをしっかりと担保しながらさまざまなアプリケーションを教育に活用できますし、データが端末ではなくクラウドにあり、児

童と教員間の共有が可能になる点も評価しました」。

現在市内で ICT 活用の実践をリードしている同校ですが、導入時はこうした ICT ツールの管理運用経験がなく、操作も未経験であったため、もちろん戸惑いがありました。6 年担当の久我 光希氏が当時を振り返ります。

「まずは時間割の確認からはじめ、学年によっては Chromebook で絵しりとりを楽しむなど、少しずつ段階を踏んで活用を進めてい

川崎市総合教育センター



指導主事
新田 瑞江氏

きました。一方、導入の準備においても、Wi-Fi 環境が整っていない家庭へのポケット Wi-Fi ルーターの貸出し、端末持ち帰りのルール作成や保護者の理解を促す説明、モラル面での指導、端末管理や充電方法の検討などに時間を要した記憶があります。

授業での活用には教員側の習熟もポイントです。5 年担当で、学校の GIGA スクール構想推進教師 (GSL) も務める江口 裕太郎氏が同校における取り組みを語ります。

「私自身、Google ドキュメントや Google スプレッドシートなど

を使ったことはありませんでした。しかし、校内でたびたび開かれた研修で学んだほか、周りの教員たちとも情報共有し、こういう使い方もあるという話を日々教え合う中で身につけていきました」。

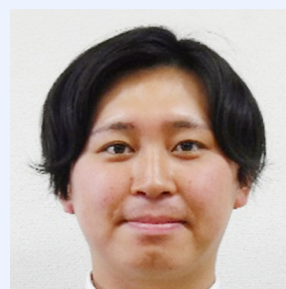
加えて、子どもたちは使っていく中でどんどんと新しい機能を発見していくので、児童から「こういうことができるんだよ」と教えられることも多くあります。「大人と子どもで情報を掛け合わせ、全体を底上げしてきたからこそ、旭町小学校としてのスキルの高さが実現されたのだと感じます」と話します。

川崎市立旭町小学校



教諭
久我 光希氏

川崎市立旭町小学校



教諭
江口 裕太郎氏

02

授業をはじめ、あらゆる活動で Google for Education を活用

同校ではいつでも、どの教育活動においても基本的に Chromebook と Google Workspace の活用を進めています。例えば国語では振り返りを積み重ねるために Google スプレッドシートを使う、思考をまとめるために Google ドキュメントや Google スライドを使っています。

「子どもたちが Chromebook を文房具のようにあやつり、自分たちでわからないことを調べ、それをもとに自然と思考するように促す場面が増えました」と久我氏。Google Jamboard を活用するケースも多いですが、その際は単体で使うのではなく、Google スライドで作った資料を Google Jamboard の背景に表示するなど、その日のテーマに応じて子どもたちがより思考しやすいように複数のアプリを連動させて使用しています。

加えて、個別最適の学習ツールとしても効果を発揮しており、従来の一斉授業のスタイルからそれぞれの子どもたちが自分で課題を決め、ツールを選んでいくスタイルに変わりつつあります。最

近は児童それぞれの方法により Google ドキュメントを共同編集していく取り組みで高い効果を感じています。

「Google スライド、Google スプレッドシート、Google Jamboard と、使うアプリは子どもによってさまざまです。その多様なスタイルで作業した結果をリンクとして 1 枚の白紙データに貼り付けることで、各自のペースで学びを進められるだけでなく、お互いのリンクを見ながら発見が得られる点も、多数のアプリを併用するメリットですね」(久我氏)。

川崎市立旭町小学校



教諭
宮毛 俊紀氏

Chromebook や Google Workspace の活用で印象に残る話として、教諭の宮毛 俊紀氏は次のエピソードを教えてくださいました。

「学校で話すのがとても苦手な子がいたのですが、この動画は先生しか見ないから、もしよかったら提出してと伝えました。すると、その子が自分で話しているところを撮影して送ってくれたので、声を聞くことができました。このときは Google for Education を導入して本当によかったと思いました」。

自分の考えを伝えることが難しい子も得意な子も、自分なりのスタイルで伝える、あるいは他の児童や教員と伝え合うツールとして力を発揮していると感じています。情報を簡単に共有できることで、「例えば国語で感想文を書く際、どのように書けばいいかわからない子には、周りの人がどう書いているか見てみよう」と問いかけます。これまでなら周囲の 2、3 人のものしか見られませんが、今は全員の分を見ることができるので、意見をまとめるのが苦手な子も授業に参加しやすくなりました」と、活用効果の実感を教えてくださいました。



03

子どもたちの未来と 教員の夢を ICT がサポートする

職員会議や学年会、教材研究、研修などほとんどの校務でも活用され、効果を生んでいます。

旭町小学校には校内の仕事だけでなく、市の GIGA スクール構想推進に関する部会の仕事も含め数多くの校務があります。これらの仕事においては業務内容をはじめ多数の連絡事項が発生するため、同校では教員間の連絡に Google Chat を活用しています。「校務分掌に Google Chat を使う学校は少ないようで、先日、市の GSL が集まった研修でも紹介しました」と江口氏。ま

た、年度末に委員会やクラブ活動を次年度の担当教員へ引き継ぐ際、従来はその準備にかなりの時間を要していましたが、Google Classroom を使うことで効率的に引き継げるようになり、業務負担が大きく削減されました。

そのほか、職員会議等の際に資料を紙で印刷するケースもほとんどなくなりました。紙ではなくデジタルデータで情報共有しようとの考え方が教員間に広がってきたといいます。江口氏も、毎週の打ち合わせ記録を Google ドキュメントに残し、その内容を教員が見る習慣が生まれたことで、連絡漏れなどのミスも格段に減ったと証言します。



校長
添野 雅美 氏



着実に成果を積み上げている同校の取り組みは市内に発信されているほか、授業公開も積極的に行われ、市内各校の校長やGSL はもちろん、市長、教育長、さらには市外や海外からも視察に訪れています。こうした視察は教員たちに自信をもたらし、工夫・改善やスキルアップにつながっています。

「Chromebook と Google Workspace を多様な形で組み合わせ活用することで、各児童の個別最適な学習や課題発見・

解決力の育成に役立てられます。また、教員からすると子どもたちの状況を把握し、それを学習指導に活かしていける点が大きなメリットです。学ぶ力はもちろん、生きる力を伸ばすうえでも期待はさらに高まっています。子どもたちの生きていく世界が広がるのが楽しみです、教員も教育活動への夢を持てるようにしていきたいですね」と、校長の添野 雅美氏は今後の活用進展に向けた思いを語ってくれました。

取材日: 2023 年 9 月 19 日

Google for Education

いつでも、どこでも、予算に応じて使える教育テクノロジーソリューションです。

Google for Education の特徴	
<input checked="" type="checkbox"/> 簡単操作	<input checked="" type="checkbox"/> 手ごろな価格
<input checked="" type="checkbox"/> 高い汎用性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い効果

- ### 1 chromebook

教育向けに設計され、授業向けに開発された軽量で耐久性の高い共有可能なノートパソコン
- ### 2 Google Classroom

教師と児童生徒向けに構築された学習プラットフォーム
- ### 3 Google Workspace for Education

時間や場所を問わず学校全体で共同利用できるクラウド型教育プラットフォーム
- ### 4 Chrome Education Upgrade

1つの端末から同じドメインのすべてのChromebookを設定
シンプルなクラウド型管理コンソール

